

（古より受命の天王は恒山・泰山を尊んでその山頂に更に壇を作って高くして天を祭り天に報じ、これを封といい）また泰山下の小山である云云山・亭亭山に地を払って地を祭り地に報じ、これを禪といった。いわゆる封禪である。

禪

ぜん

は

云

うん

亭

てい

を

主

しゅ

とす。



文

●先

青

●